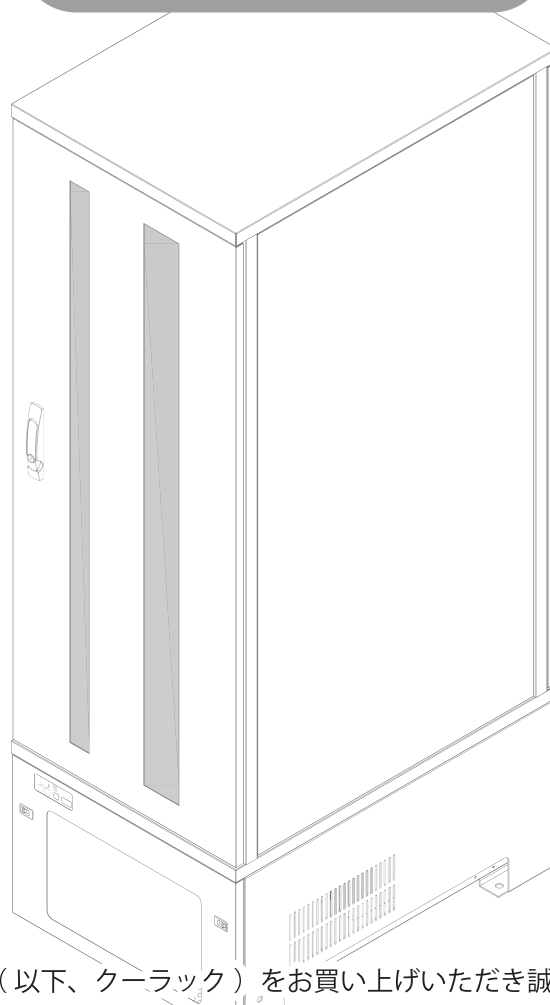


Coo-Rack

取扱説明書



このたびは、Coo-Rack（以下、クーラック）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本取扱説明書は別紙『施工説明書』とともに大切に保管してください。

品番：SCRVT

【第5版】2016年 8月

河村電器産業株式会社

《免責事項》

- 本製品の使用によって生じる如何なる損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災・地震・落雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の仕様または故障から生じた付随的な障害（計測データの損失・何らかの金銭的な損失）に関して当社は一切の責任を負いません。

もくじ

使用上のご注意	3
安全上のご注意	3～6
名称とはたらき	7～8
クーラーの名称とはたらき	7
コントローラーの名称とはたらき	8
機器の取付けについて	9～10
運転方法	11～12
警報・異常表示	13～15
① 警報が出力 → 運転を停止する場合	13～14
② 警報が出力 → 運転を継続する場合	14～15
停電したときの対処方法	16
① 停電時間が5分未満の場合	16
② 停電時間が5分以上の場合	16
お手入れ方法	17
クーラーの引き出し・閉め方	18～19
クーラーの引き出し方	18
クーラーの閉め方	19
冷媒の回収について	20
「フロン排出規制法」に基づく冷凍空調機器の点検について	20
移設および廃棄について	21
故障かな?と思ったとき	22
外形寸法	23
仕様	23
保証期間	24
お問い合わせ先	24

使用上のご注意 必ずお守りください

ご使用前に以下の事項をよくお読み、お守りください。

- クーラックを使用する部屋は十分に換気してください。
- 使用環境の周囲温度は 5 ～ 40℃ の範囲でお使いください。
- ラック内搭載機器発熱量は、2.3 kW を超えないでください。
- 粉塵の多い場所では使用しないでください。
- 屋外・半屋外では使用しないでください。
- 腐食性ガスの発生する恐れがある場所、振動の多い場所では使用しないでください。
- ラック前面は 85cm 以上あけてください。
(85cm 以下の場合、扉の開閉・クーラーの出し入れができません。)
- クーラーは吸排気が必要なため、ラックの背面は壁面より 30cm 以上あけてください。
背面が扉のものは 70cm 以上あけてください。

以上のことを逸脱しますと、クーラーの停止や場合によっては故障にいたる場合があります。



安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用前に以下の事項をよくお読みください。

お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

本製品に搭載されているクーラーはクーラック専用です。
本来の目的以外では、絶対に使用しないでください。

- 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次のように想定されます。
それぞれの表示と意味を区別して、説明しています。



 警告	誤まった取り扱いをしたとき、死亡または重傷の発生が想定される内容です
 注意	誤まった取り扱いをしたとき 中程度の障害や軽症の発生または物的損害のみが想定される内容です

- お守りいただく内容を次の絵表示で区別して、説明しています。

 してはいけない禁止している内容	 必ずしなければならない強制の内容
---	--

警告

ご使用時には

-  電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。
感電や発熱および火災の原因になります。
-  電装箱の蓋を開けたまま運転をしないでください。
感電の原因となります。

警告

ご使用時には

空気の吐出口および吸気口に指または棒などを入れたりしないでください。
内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。

クーラーを運転している部屋では引火物を使わないでください。
ラッカー、ペイントなどの可燃性スプレーおよび油（機械油も含む）の蒸気は発火の原因になります。

電源プラグの抜き差しにより、クーラーの運転や停止をしないでください。
感電や火災の原因になります。

製品および電気配線の改造・変更をしないでください。
重大事故の原因になります。



クーラーには保護装置およびプリント板があります。
保護装置およびプリント板に触ったり、設定値を変更したりすると重大事故の原因になります。

電源コードを加工したり、無理な曲げ伸ばしや、束ねたりしないでください。
また、重いものを乗せたり挟み込んだりすると、電源コードが破損して感電や火災の原因になります。

冷媒であるフロン類をみだりに大気中に放出することは法律で禁止されています。

クーラーを廃棄する場合は冷媒を回収する必要がありますので、
お買い求めの販売店または有資格業者にご相談ください。
フロン類の種類と充填量およびその地球温暖化係数 (GWP) は、
本取扱説明書およびクーラー右側面の冷媒銘板に記載されています。
また、冷媒が漏れると酸素欠乏の原因になります。

小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても限界濃度を超えないように対策する必要があります。
冷媒がもれて限界濃度を超えると、酸素欠乏事故の原因になります。
詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源は必ず定格 15A 以上、交流 100V の専用コンセントを使用してください。
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常過熱し、火災になる恐れがあります。

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきやほこりが溜まらないように
刃の根本まで確実に差し込んでください。
ほこりが溜まった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。




保護装置がよく作動したり運転スイッチの作動が確実でない場合は、すぐに電源を切ってください。
漏電または過電流の可能性があるので、感電、火災および破裂の原因になります。
お買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご連絡ください。

本製品は不燃性、非毒性、無臭性の安全冷媒（フルオロカーボン）を使用しています。
フルオロカーボンが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
また、フルオロカーボンは空気より比重が重いので、床面付近をおおい酸素欠乏の原因になります。
フルオロカーボンが漏れたときには、ストーブなどの火気を消して床面を掃くようにして
換気したうえで、お買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご連絡ください。

電源プラグや配線コネクタを外すときは、先端のプラグ、コネクタを持って外してください。
コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発火の原因になります。


警告

ご使用時には

-  接地線は接地端子に確実に接続してください。
接地工事に不備があると、感電の恐れがあります。


異常時は

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き、電源を切ってください。
異常のまま運転を続けると故障、感電および火災などの原因になります。
お買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご連絡ください。


-  火災が発生した場合は、ただちにクーラーの電源プラグを抜いてください。
感電の原因になります。


異常が発生した場合はすぐに表示された警報コードの確認事項を確認し点検してください。
問題が解決しない場合はお買い求めの販売店へ点検を依頼してください。

保守・点検時は

-  お手入れの時は必ず運転スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてからおこなってください。
感電やファンによるケガの恐れがあります。
また、お手入れ中に電源を入れないように電源プラグに表示するなどして注意してください。

修理・再設置時は

-  修理技術者、専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理をしないでください。
分解および修理に不備があると異常動作によりけがをしたり感電および火災の原因になります。


-  クーラーを修理・移設するときは、お買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご連絡ください。
修理や据え付けに不備があると、感電および火災の原因になります。

注意

ご使用時には

保護装置は取り外したり設定値を変更したりしないでください。
取り外したり設定値を変えるとクーラーの破裂および発火の恐れがあります。

凝縮器のフィンは素手で触らないでください。
けがする恐れがあります。

-  クーラーの本体内に指または棒などを入れたりしないでください。
内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。

ラックの扉を開放したままで、クーラーを運転しないでください。
結露やドレン水が異常発生し水漏れの原因になります。

製品の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。
落下および転倒などによりけがの恐れがあります。

露出している配管および配線に触れないでください。
火傷および感電の恐れがあります。

注意

ご使用時には



濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、ボタン操作をしないでください。
感電する恐れがあります。

高温部には触れないでください。

圧縮機、熱交換器および配管などは 100℃以上になる部分があり、触れると火傷する恐れがあります。

凝縮器の近くに物および熱源になるようなものを置かないでください。

凝縮器の吸込空気温度が上昇して保護装置が作動する原因となります。

無停電電源装置（UPS）から電源供給はしないでください。

クーラーの故障する原因となります。

取扱者以外の方が触れないような表示をするか、触れる恐れのある場合は、
保護柵などでラックを囲ってください。

誤使用によりけがの恐れがあります。



電源電圧は単相 100V ± 10% 以内（50 / 60 Hz）で使用してください。

また、範囲内であっても電源電圧が低下すると蒸発器側の風量が低下して、

冷却された空気がラック内上部の温度センサまで届きにくくなるため、

ラック内の検出温度が上昇して異常が発生する恐れがあります。

換気をよくしてください。

冷媒が漏れると、酸素欠乏になる恐れがあります。

保守・点検時は



掃除のときは凝縮器のフィンに直接手を触れないでください。

けがする恐れがあります。

フィルタは定期的に清掃してください。

フィルタが汚れたまま使用を続けると凝縮器の通風量が低下し、保護装置が作動する原因となります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

ほこりが溜まって発熱し、発火の恐れがあります。



漏電遮断器は定期的に動作確認をしてください。

漏電遮断器を故障のまま使用すると漏電のときに作動せず、感電の恐れがあります。

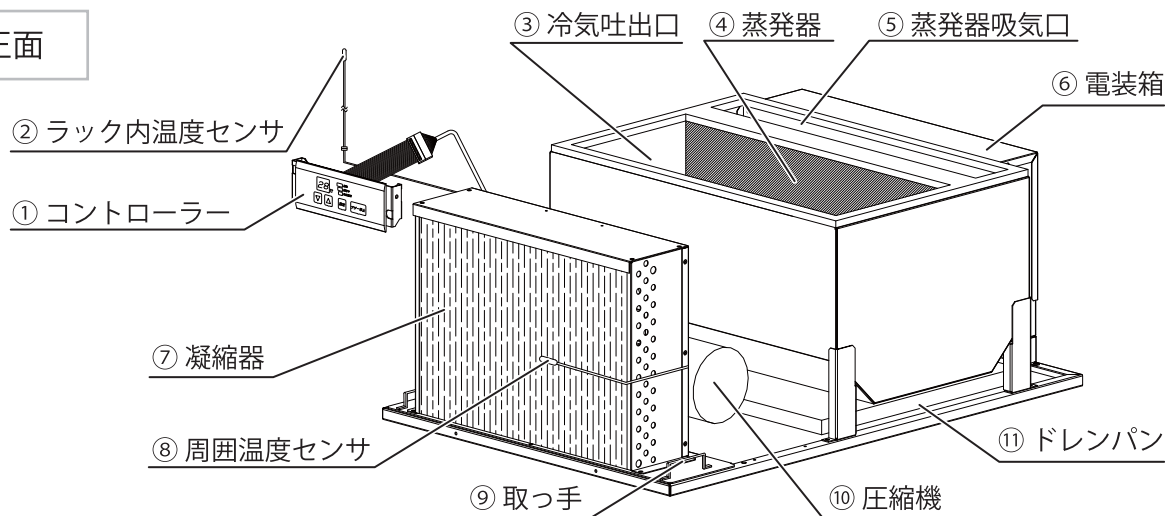
お手入れの際は、安全のため手袋などをしてください。

けがする恐れがあります。

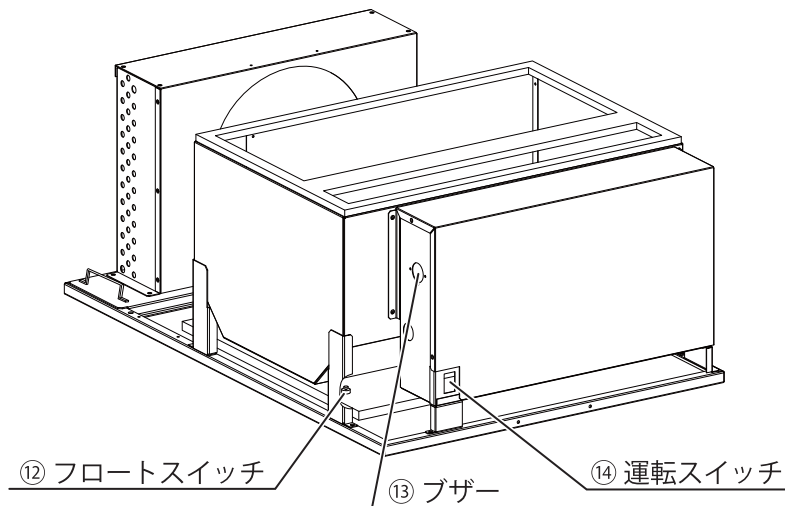
名称とはたらき

クーラーの名称とはたらき

正面

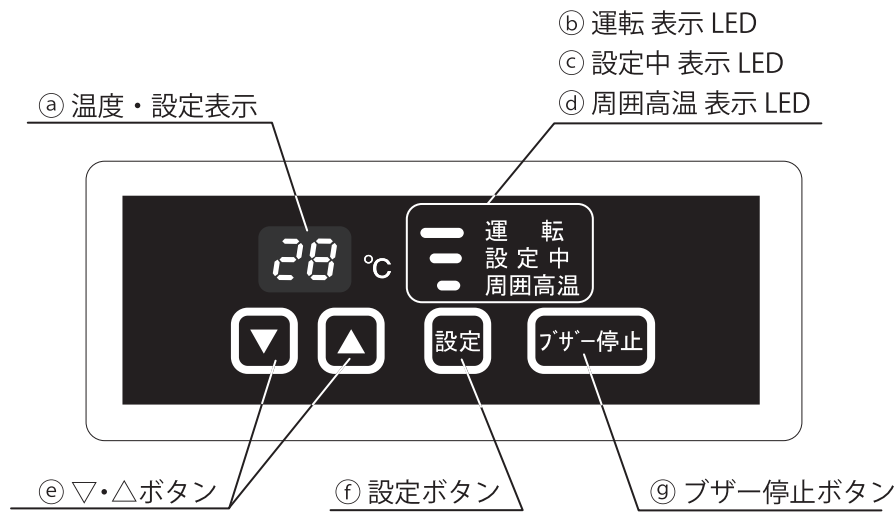


背面



① コントローラー	クーラーの状態や設定の表示 および操作をします 詳細は『コントローラーの名称 とはたらき』(⇒P.8)をご覧 ください	⑧ 周囲温度 センサ	ラック周囲の温度を検知しています 5℃以下、40℃以上を検知したときは コントローラーのLEDが点灯します
		⑨ 取っ手	クーラーを動かすときに使用します
② ラック内温度 センサ	ラック内の温度を検知しています	⑩ 圧縮機	冷媒を圧縮して吐出します
③ 冷気吐出口	冷気の吹出口です	⑪ ドレンパン	ドレン水を受けて蒸発させます
④ 蒸発器	熱交換をしてラック内の空気を 冷やします	⑫ フロート スイッチ	ドレンパンからの漏水を防止する 保護装置です
⑤ 蒸発器吸気口	ラック内の空気をクーラー内に 取り入れる吸気口です	⑬ ブザー	クーラーの異状をお知らせするための ブザーです
⑥ 電装箱	外部出力端子を収納しています	⑭ 運転スイッチ	運転のON・OFFを切り替えます
⑦ 凝縮器	熱交換をして排熱します		

コントローラーの名称とはたらき



① 温度・設定表示	電源プラグを差込み後、運転スイッチの ON・OFF に関わらずラック内の温度を表示します 設定モードのときは設定項目や値を表示します
② 運転表示 LED	クーラー運転時に点灯します
③ 設定中表示 LED	設定中に点灯します
④ 周囲高温表示 LED	ラック周囲温度が 40℃以上のときに点灯します
⑤ ▽・△ボタン	選択項目や設定値を変更します
⑥ 設定ボタン	設定モードに移行または、項目切り替えをします
⑦ ブザー停止ボタン	ブザーが鳴動中に押すと、ブザー音と外部出力が停止します 5 秒押し続けると操作音を停止します 操作音停止時は解除になります 設定モード中に押すと設定モードを終了します

無効操作をしたときは“ピピピ”という操作音になります。

解除操作をしたときは“ピー”という操作音になります。

機器の取付けについて

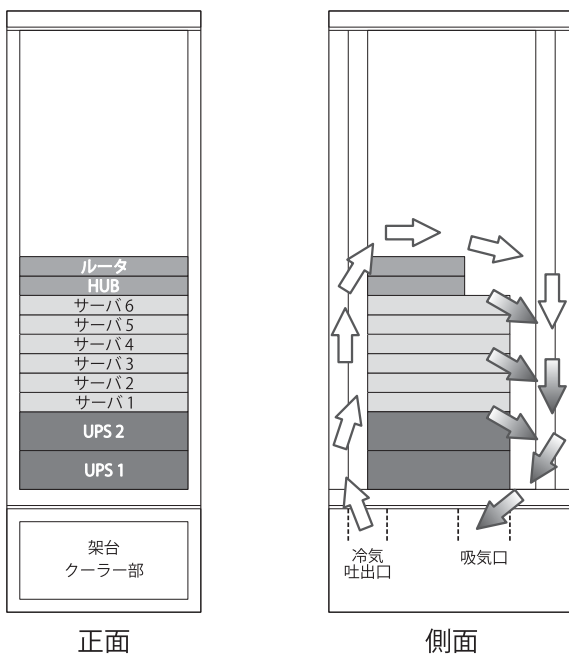
クーラックは機器前面より冷気を送り込み、ラック内を循環させることで機器を冷却する装置です。機器のレイアウトによっては冷気がラック内に滞留して、ラック内の温度が上がり警報を出すことがあります。冷気がラック内にいき渡るよう、機器の配置を注意して取り付けてください。

- 機器は下からスペースを空けないように取り付けてください。
下部にスペースがあると、冷気が下部に溜まってしまいラック内を循環しません。
- 機器の間にスペースをつくる時はblankパネルを設置してください。
スペース部分から冷気が抜けてしまい、ラック内を循環しません。
- ラック内にディスプレイを配置するときは、機器の一番上に設置してください。
ディスプレイを中央などに設置すると隙間から冷気が抜けてしまい、ラック内を循環しません。

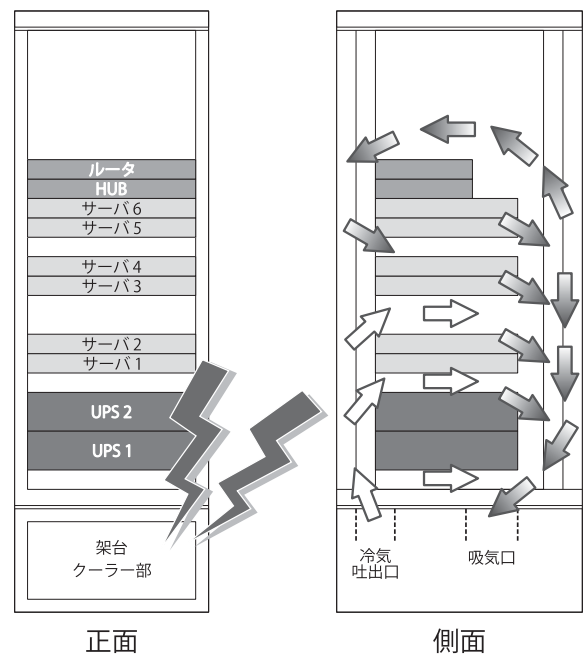
※ 図中の  は冷気、 は暖気の流れを表しています。

取付け例 1

【良い例】



【悪い例】



【悪い例の原因】

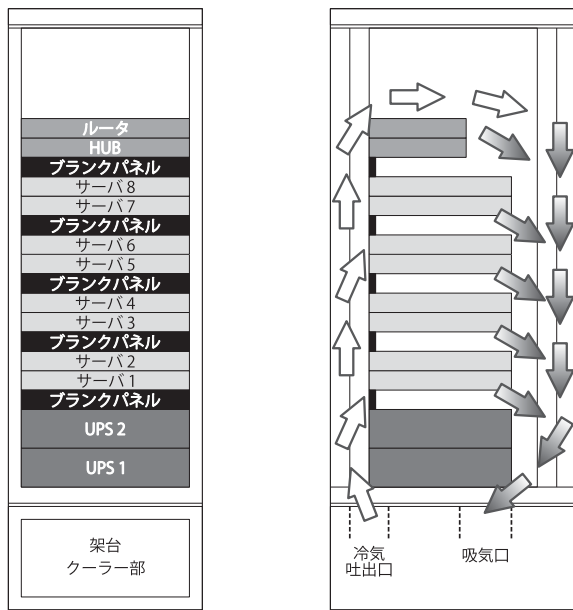
クーラーからの冷風が機器の間から抜けてしまい、ラック上部の温度が上がり警報が出力しました。

【対策例（良い例）】

機器を下から順番に設置することにより、冷気がラック内を循環するようになりました。

取付け例 2

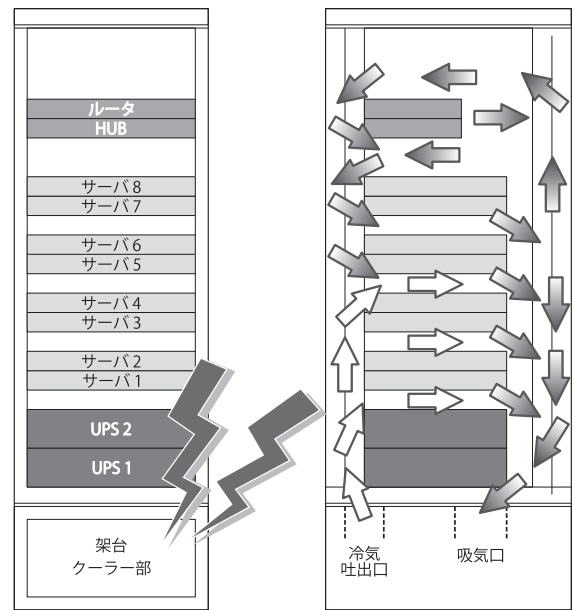
【良い例】



正面

側面

【悪い例】



正面

側面

【悪い例の原因】

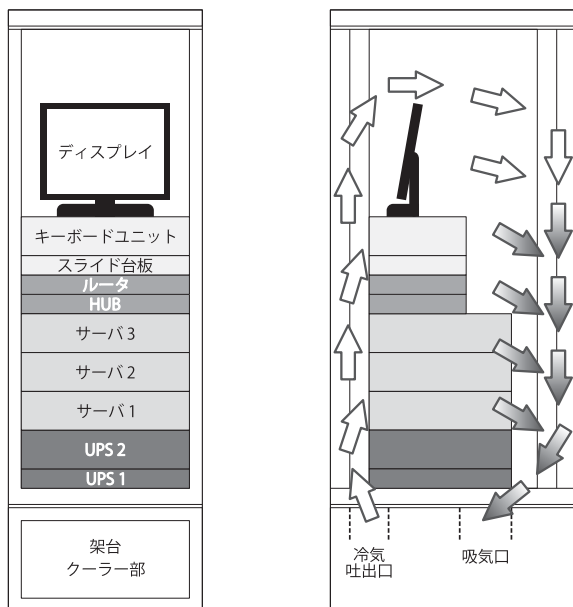
クーラーからの冷気が機器の間から抜けてしまい（ショートサイクル）、ラック上部の温度が上がり警報が出力しました。

【対策例（良い例）】

機器の間にblankパネルを設置して、機器の間を抜けていた冷気が上部まで循環するようになりました。

取付け例 3

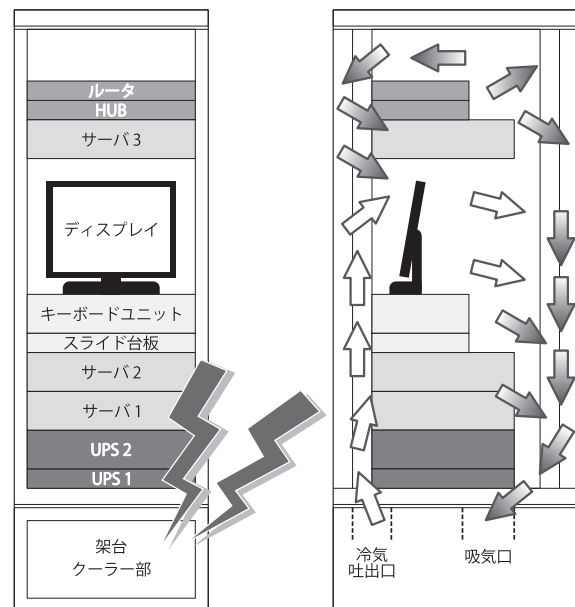
【良い例】



正面

側面

【悪い例】



正面

側面

【悪い例の原因】

クーラーからの冷気がディスプレイから後方へ抜けしまい、ラック上部の温度が上がり警報が出力しました。

【対策例（良い例）】

機器の配置を変更して、ディスプレイを機器の最上部に設置することにより、真ん中から抜けていた冷気が上部まで到達し循環するようになりました。

運転方法

⚠ 注意

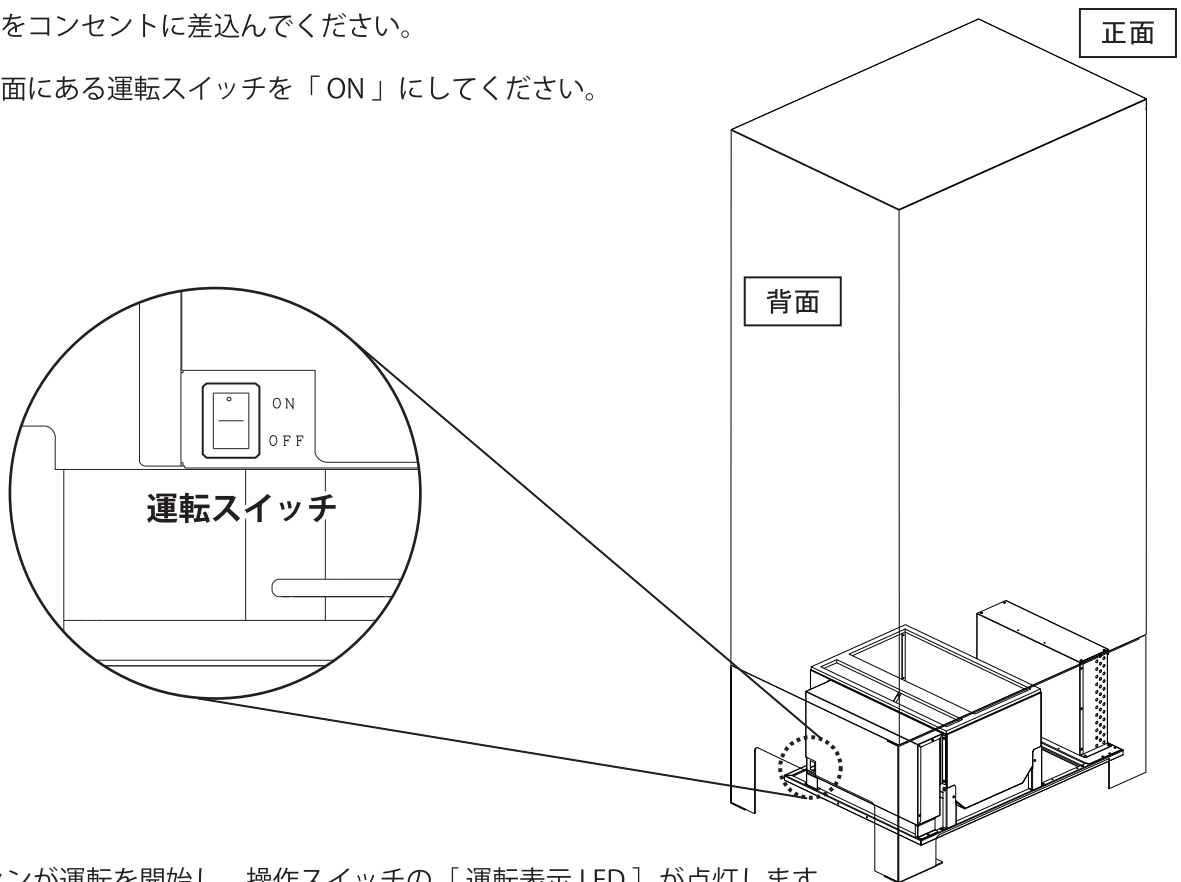
運転スイッチの過度な ON・OFF は、故障の原因となりクーラーの寿命を短くします

クーラー本体内に指を入れて運転しますとケガの原因となりますので絶対にしないでください

ラックの扉を開放したまま作業をするときは、必ず運転スイッチを OFF にしてください
結露が発生したり、ドレン水が異常に発生して警報が出るおそれがあります

設定温度・ラック内高温警報温度・ラック内低温警報温度を設定します。

- ① 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ② クーラー背面にある運転スイッチを「ON」にしてください。



蒸発器ファンが運転を開始し、操作スイッチの「運転表示 LED」が点灯します。
運転スイッチを『ON』にした直後は圧縮機保護のため、凝縮器ファンはすぐに動作しません。

- ③ コントローラーで以下の内容を設定します。

※ 設定は運転中・停止中どちらでもできます。

項目	内容	パネル表示	初期値	設定範囲値
設定温度	ラック内の温度を設定します	od	28℃	25～32℃
ラック内高温警報温度	ラック内の高温注意警報を出す温度を設定します	AH	50℃	40～50℃
ラック内低温警報温度	ラック内の低温注意警報を出す温度を設定します	AL	10℃	10～20℃

※ 運転中、設定温度に達してもクーラーが動作・停止するには数分かかることがあります。

※ 設定モード中に1分間操作をおこなわないと、設定は自動的に終了します。(設定した内容は保存されます)

操作1: コントローラーの **設定** ボタンを押すと、設定モードになり表示が数字から英文字に変わります。

また、[設定中表示 LED] が点灯します。

操作2: 設定する項目の表示まで **▼** または **▲** ボタンを押してください。

操作3: 設定する項目の表示になったら **設定** ボタンを押して温度入力表示に切り替えます。

操作4: **▼** または **▲** ボタンを押して設定する温度に変更します。

操作5: 次の項目を設定する場合は **設定** ボタンを押してください。

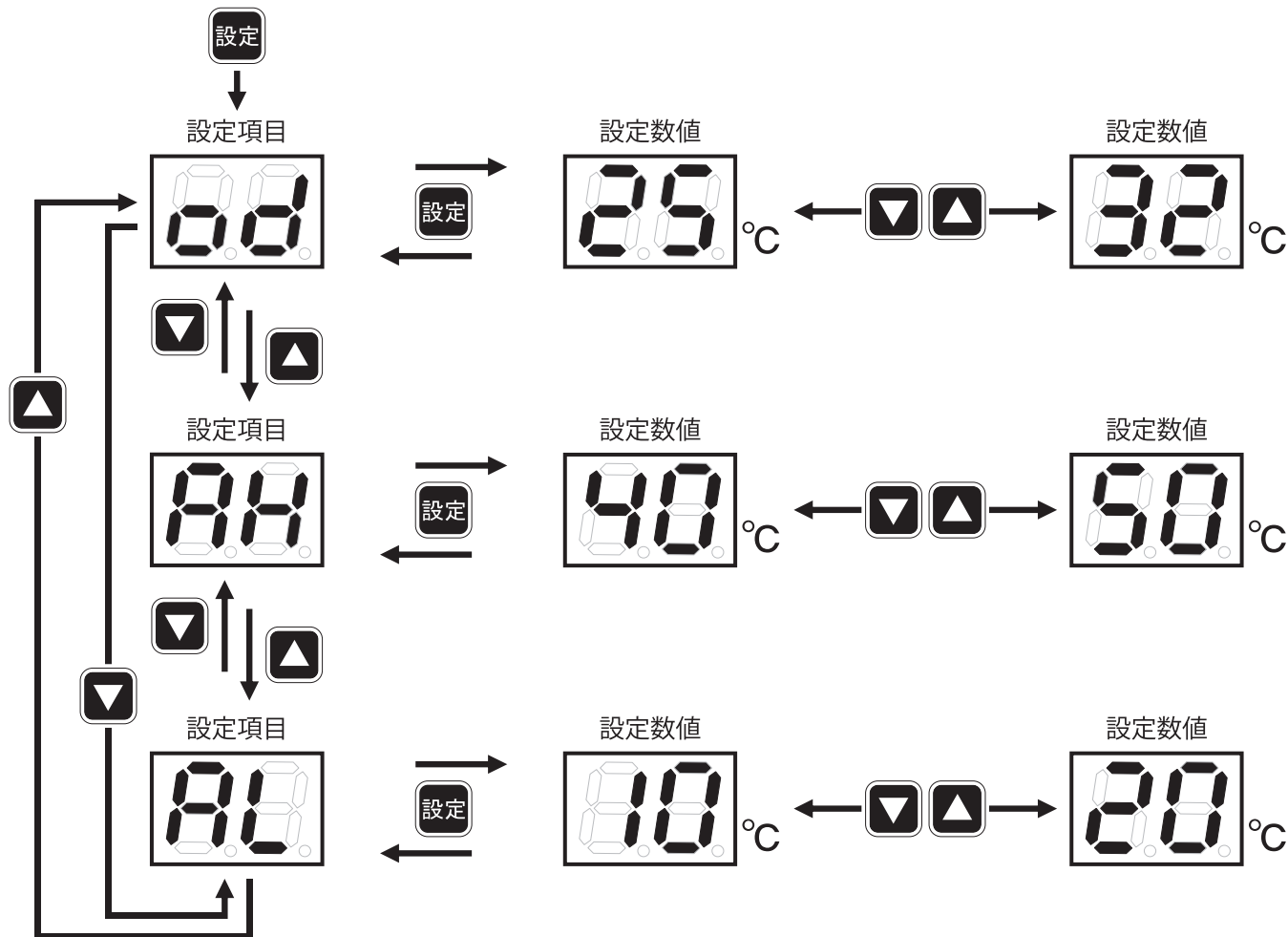
操作6: 設定項目表示に切り替るので、設定する項目の表示まで **▼** または **▲** ボタンを押してください。

操作7: 必要に応じて操作3~6の操作をおこなってください。

④ 設定入力後は **ブザー停止** ボタンを押して設定モードを終了します。

⑤ [設定中表示 LED] が消灯すると、設定完了です。

【設定モード時に表示される順番】



警報・異常表示



注意

異常が発生した場合はすぐに表示された警報コードの確認事項を確認し点検をしてください
問題が解決しない場合は販売店へ点検を依頼してください

異常を検出した場合、コントローラーに警報コードとラック内温度が交互点滅表示されます。
また、警報の種類によりクーラーの運転を停止する場合と継続する場合があります。

確認事項を点検しても、解決しないときは『故障かな？と思ったとき』（⇒P.22）もあわせてご確認ください。

※ 警報出力時に外部接点出力を使い、離れた場所に①と②の警報（無電圧接点信号）を出すことができます。
（最大接点容量 AC250V（DC125V）5A）
設定をするときは、販売店へご相談ください。

① 警報が出力 → 運転を停止する場合

以下の内容の警報を検出した場合はブザーでお知らせをします。

警報コード (パネル表示)	警報内容	原因・確認事項
01	フロートスイッチの動作	原因：ドレンパンが満水 確認事項：ラックの扉を開け放していませんか？ ドレンパンに水が溜まっていませんか？ 問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください
02	保護装置の作動	原因：凝縮器の通風量が少ない 凝縮器の吸込空気温度が高い 確認事項：フィルタは汚れたり、目詰まりしていませんか？（⇒P.17） 周囲温度は高くありませんか？ 凝縮器の吸排気口がふさがれていませんか？ 凝縮器の近くに熱源はありませんか？ 問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください
07	圧縮機吐出ガススーパーヒート低下異常	クーラーの内部機器が故障している可能性があります 販売店へ点検をご依頼ください
08	圧縮機吐出ガス温度過昇異常	
38	保護装置検出回路異常	
39	運転電流異常	原因：凝縮器の吸込空気温度が高い 電源電圧の低下 確認事項：周囲温度は高くありませんか？ 凝縮器の吸排気口がふさがれていませんか？ 凝縮器の近くに熱源はありませんか？ 電源の電圧が低くなってませんか？ 問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください

45	高圧圧力上昇防止保護作動	<p>原因：凝縮器の通風量が少ない 凝縮器の吸込空気温度が高い</p> <p>確認事項：フィルタは汚れたり、目詰まりしていませんか？（⇒P.17） 周囲温度は高くありませんか？ 凝縮器の吸排気口がふさがれていませんか？ 凝縮器の近くに熱源はありませんか？</p> <p>問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください</p>
EE	圧縮機保護	<p>原因：圧縮機にダメージを与えるような故障が発生している可能性があります</p> <p>販売店へ点検をご依頼ください</p>

警報・異常表示の解除方法

以下のどちらかの方法で警報・異常表示を解除します。
原因を解消してください。

- 1) コントローラーの  ボタンを押します。

異常リセット（警報コードの表示解除、警報ブザーの停止、外部信号の停止）をおこない通常の停止状態となり、警報コードの表示も解除されます。

圧縮機が停止後、運転を再開します。

- 2) 運転スイッチを「OFF」にします。

異常リセットをおこない、通常の停止状態となります。

※ 警報コード [EE] は上記の操作をおこなったとき、警報ブザーは停止しますが警報コードの表示は解除されません。

② 警報が出力 → 運転を継続する場合

※ 警報コード “Rf” “Lo” 以外の警報を検出した場合はブザーでお知らせをします。



異常が発生したら、速やかに点検をおこなってください
異常表示中も運転は継続しますが、故障する可能性があります

警報コード (パネル表示)	名称	原因・確認事項
11	ラック内温度サーミスタ異常	クーラーの内部機器が故障している可能性があります 販売店へ点検をご依頼ください
21	高圧圧力センサー異常	
22	周囲温度サーミスタ異常	
23	吐出ガス温度サーミスタ異常	

※ 次のページに続きます。

<p>Hi</p>	<p>周囲温度異常</p>	<p>原因：凝縮器の吸込空気温度が低いもしくは高い 確認事項：周囲温度は 5 ～ 40℃の範囲ですか？ 凝縮器の吸排気口がふさがれていませんか？ 凝縮器の近くに熱源はありませんか？ 問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください</p>
<p>H_i</p>	<p>ラック内温度高温注意</p>	<p>原因：ラック内の機器が多すぎる ラック内温度センサが正しく取り付けられていない 蒸発器の通風量が少ない 高温警報温度の設定が適切ではない 確認事項：ラック内の機器が多すぎませんか？ ラック内温度センサは正しく取り付けられていますか？ 蒸発器の通風路がふさがれていませんか？ 高温警報温度の設定は適切ですか？ (⇒P.11～12) 電源の電圧が低くなっていますか？ 問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください</p>
<p>Lo</p>	<p>ラック内温度低温注意</p>	<p>原因：ラック内温度センサが正しく取り付けられていない 低温警報温度の設定が適切ではない ラック内の機器が少ないまたは、周囲温度が低い 確認事項：ラック内温度センサは正しく取り付けられていますか？ 低温警報温度の設定は適切ですか？ (⇒P.11～12) ラックの機器が少なく、周囲温度が低いときに“Lo”が表示される場合があります 問題が解決しないときは販売店へ点検をご依頼ください</p>
<p>rL</p>	<p>冷媒循環量減少注意</p>	<p>クーラーの内部機器が故障している可能性があります 販売店へ点検をご依頼ください</p>

警報・異常表示の解除方法

コントローラーの **ブザー停止** ボタンを押すと警報ブザーは停止しますが、警報コードの表示は解除されません。

以下のどちらかの方法で警報・異常表示を解除します。
 原因を解消してください。

1) 原因が解消されたときは、自動的に異常リセット（警報コードの表示解除、警報ブザーの停止、外部信号の停止）をおこない、通常運転します。

2) 運転スイッチを「OFF」にします。

異常リセットをおこない、通常の停止状態となります。

停電したときの対処方法

停電した時間や状況により以下の対応をしてください。

① 停電時間が 5 分未満の場合

停電時、クーラーは停止しますが復電後は自動的に再起動して冷却を再開します。

⇒ 停電後、操作をおこなう必要はありません。

※ 冷却運転は内部部品を保護するために時間経過してから稼働します

② 停電時間が 5 分以上の場合

停電時、収納機器は UPS からの給電で稼働しているのに、クーラーが止まってしまった状態ではラック内の温度が徐々に上がってしまい、ラック内高温警報温度を越えてしまう可能性があります。

排熱をするためにクーラーの運転スイッチを「OFF」にしてから、ラックのドアと背面を開放してください。UPS からの電源の給電時間は限られていますので、搭載機器をシャットダウンすることをおすすめします。

⇒ 停電時、運転スイッチを「OFF」にしてください。
ラックのドア・背面を開放してください。
また、搭載機器をシャットダウンしてください。

お手入れ方法

⚠ 注意

作業をするときは必ずクーラーの運転スイッチをOFFにしてください

クーラーの寿命は一般的に約5年ですが、これはフィルタの清浄など定期的なメンテナンスにより使用を継続できる期待年数です。

使用環境の空気の汚れ具合によっては、頻繁にフィルタの清掃をおこなってください。

フィルタの目詰まりにより冷却能力が低下します。

また、温度の高い場所や振動の多い場所に設置しても、寿命は短くなります。

● フィルタ・フィン清掃頻度

フィルタ清掃は月に1～2回、フィンは半年に一度おこなってください。

● フィルタの清掃方法

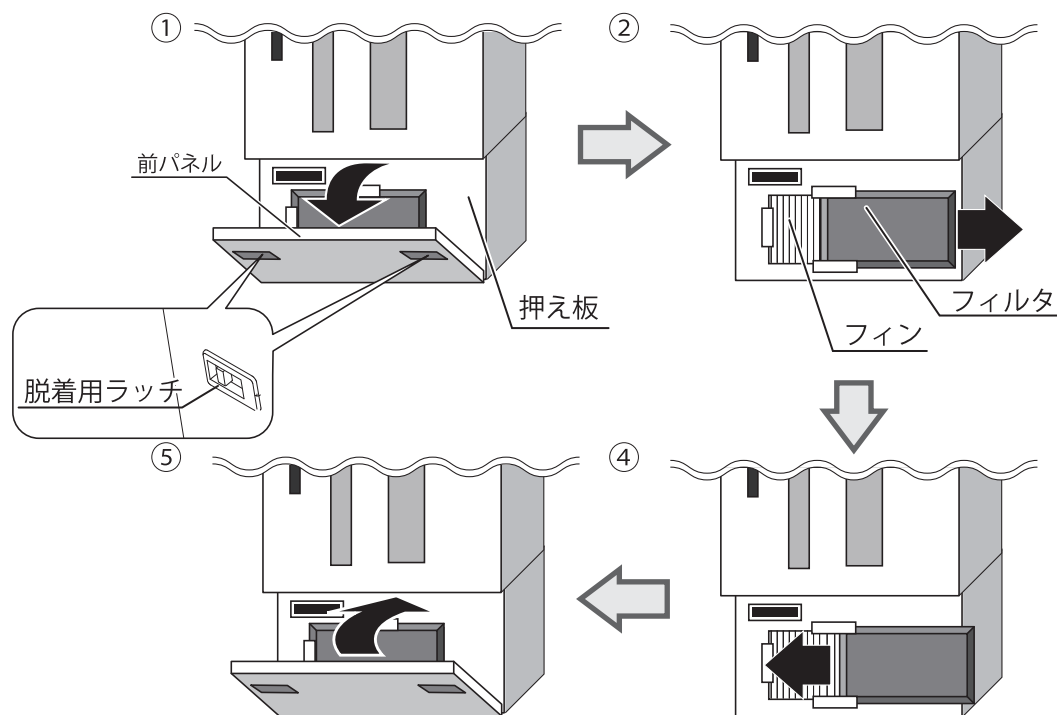
- ① 前パネルの左右にある脱着用ラッチを内側へスライドさせ、前パネルを外します。
- ② フィルタを右にスライドさせ抜き取ります。
- ③ フィルタ・フィンはブラシなどでほこりを落とし、掃除してください。

⚠ 注意

水や洗剤などは使用しないでください

フィンで手を切らないように掃除をするときは手袋などをしてください

- ④ フィルタを右からスライドさせ、差し込みます。
- ⑤ 前パネルをはめ込みます。



※ ラック右側面部を、壁面から近くの距離に設置している場合はフィルタを上下にたわませて、つけ外してください。

※ 新しいフィルタを交換するときは①・②・④・⑤の方法でおこなってください。

※ ラックの種類により前パネル・押え板の形状が違いますが、構造は同じです。

クーラーの引き出し・閉め方

⚠ 注意

作業をするときは必ずクーラーの運転スイッチをOFFにしてください

作業をするときは安全のために手袋などをしてください
ケガの原因になります

クーラーの交換や、端子の接続などをおこなうときは以下の方法でクーラーを取り出してください。

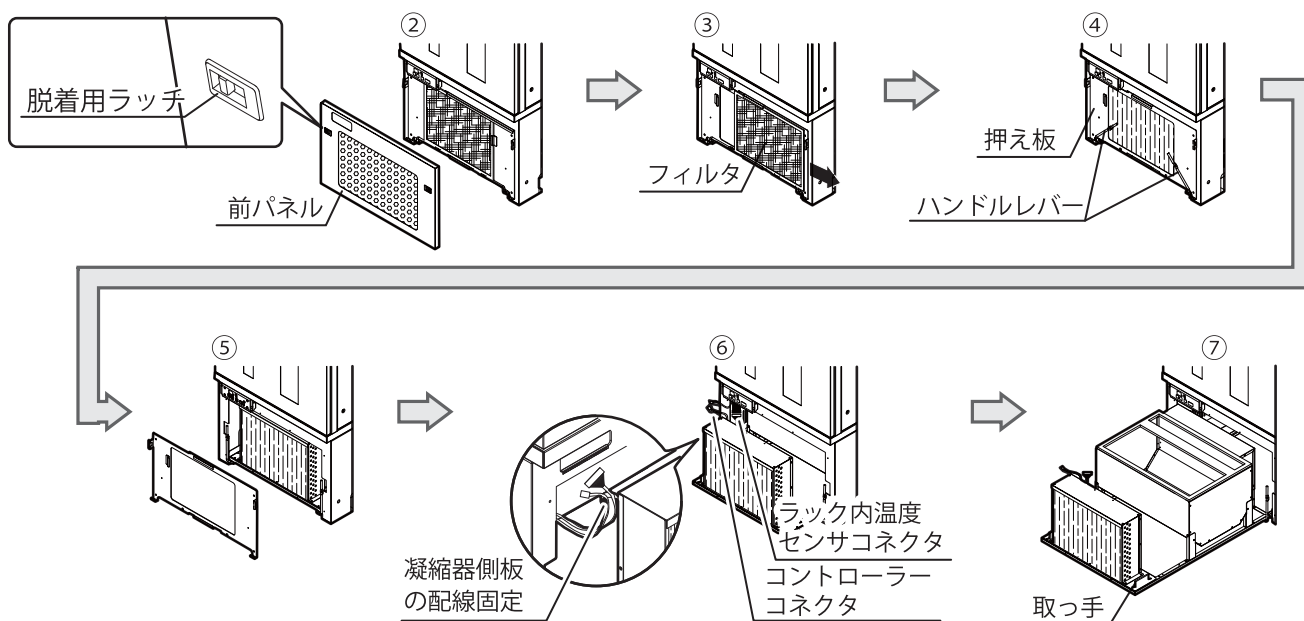
クーラーの引き出し方

- ① クーラー背面にある運転スイッチを「OFF」にして、電源プラグを抜いてください。
- ② 前パネルの左右にある脱着用ラッチを内側へスライドさせ、前パネルを外してください。
- ③ フィルタを右にスライドさせ、外してください。
(ラック右側面部を壁面から近くに設置している場合はフィルタを上下にたわませてください。)
- ④ 押え板のネジとハンドルレバーのネジを取り外して、ハンドルレバーを外側へ起こしてください。

⚠ 注意 クーラーの重みで勢いよく動きますので、手を挟まないよう注意してください

- ⑤ 押え板を外してください。
- ⑥ クーラーを少し引き出し、凝縮器側板の配線固定からラック内温度センサ、コントローラーのケーブルをはずしてコネクタを外してください。
- ⑦ クーラーの取っ手を持ち、水平に前面へ引き出してください。

⚠ 注意 引き出すときにコントローラーのケーブルを引っ張らないように注意してください



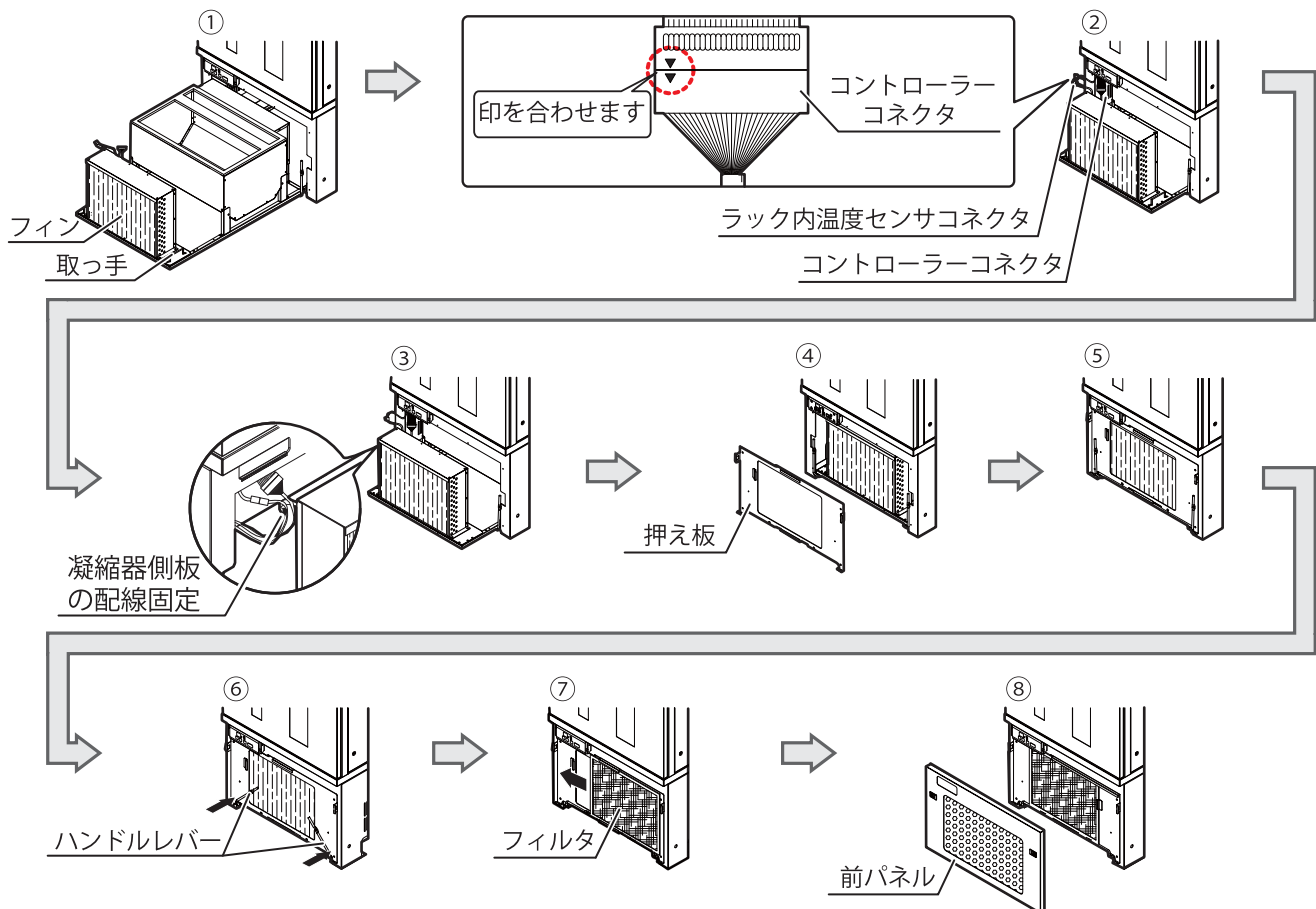
※ ラックの種類により前パネル・押え板の形状が違いますが、構造は同じです。

クーラーの閉め方

- ① クーラーの取っ手を持ち、正面から水平に挿入してください。

△注意 挿入するときにコントローラーの制御線・電源コードを挟まないよう注意してください
フィンを押して挿入しないでください

- ② 完全に挿入する前にラック内温度センサ、コントローラーのコネクタをそれぞれ取り付けてください。
コントローラーのコネクタは取り付け向きが決まっています。
コネクタに記載してある三角の印をあわせて取り付けてください。
- ③ コネクタを取り付け後、凝縮器側板部の配線固定に各ケーブルを固定してください。
- ④ クーラーを完全に奥まで挿入してください。
- ⑤ 押え板をネジで固定してください。
- ⑥ ハンドルレバーを奥へ押し込んでから、内側に倒しネジで固定してください。
- ⑦ フィルタを右側からスライドさせ差し込みます。
(ラック右側面部を壁面から近くに設置している場合はフィルタを上下にたわませてください。)
- ⑧ 前パネルをはめ込み、取り付けてください。
- ⑨ 電源プラグをコンセントに挿し、運転スイッチを「ON」にしてください。



※ ラックの種類により前押え板の形状が違いますが、構造は同じです。

冷媒の回収について

この製品にはフロン類が使用されており、フロン回収・破壊法における第一種特定製品として扱われます。

地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。

製品を破棄及び修理するときは下記にご注意ください。

- 地球環境を保護するため、次のことが法律で決められていますので、必ず守ってください。
 - ・ 何人も、製品に封入されている冷媒をみだりに大気中に放出してはならない。
 - ・ 製品の廃棄時は、封入されている冷媒を回収する。
 - ・ 製品の修理時の不要な冷媒は、大気中への放出はせず、回収する。
- 冷媒番号、封入量およびその地球温暖化係数（GWP）は、製品本体に貼ってある製品銘板に記載しております。
- この商品は特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用商品ではありません。
- 冷媒回収には費用がかかりますので、ご負担願います。
- 冷媒回収には、回収業者（登録制）にご依頼ください。
ご不明なときは、販売店にお問い合わせください。

「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機の点検について

冷媒フロン類を適切に管理していただくために、すべての機器においてお客さまご自身による簡易点検が義務づけられています。

さらに管理する圧縮機定格出力によっては有資格者による定期点検（有償）も義務づけられています。

ただし、本製品シリーズにおいては圧縮機定格出力が7.5kWを下回るため、定期点検は不要です。

	対象機器	点検頻度	点検内容
簡易点検	すべての機器	3ヶ月に1回以上	《お客様（＝所有者）にて実施》 目視による 機器の異音・異常振動、外観の損傷 腐食・錆び・油にじみ、熱交換器の霜付 がないか 確認をします。 他詳細は一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 のホームページ〈 http://www.jraia.or.jp/ 〉を参照 してください。

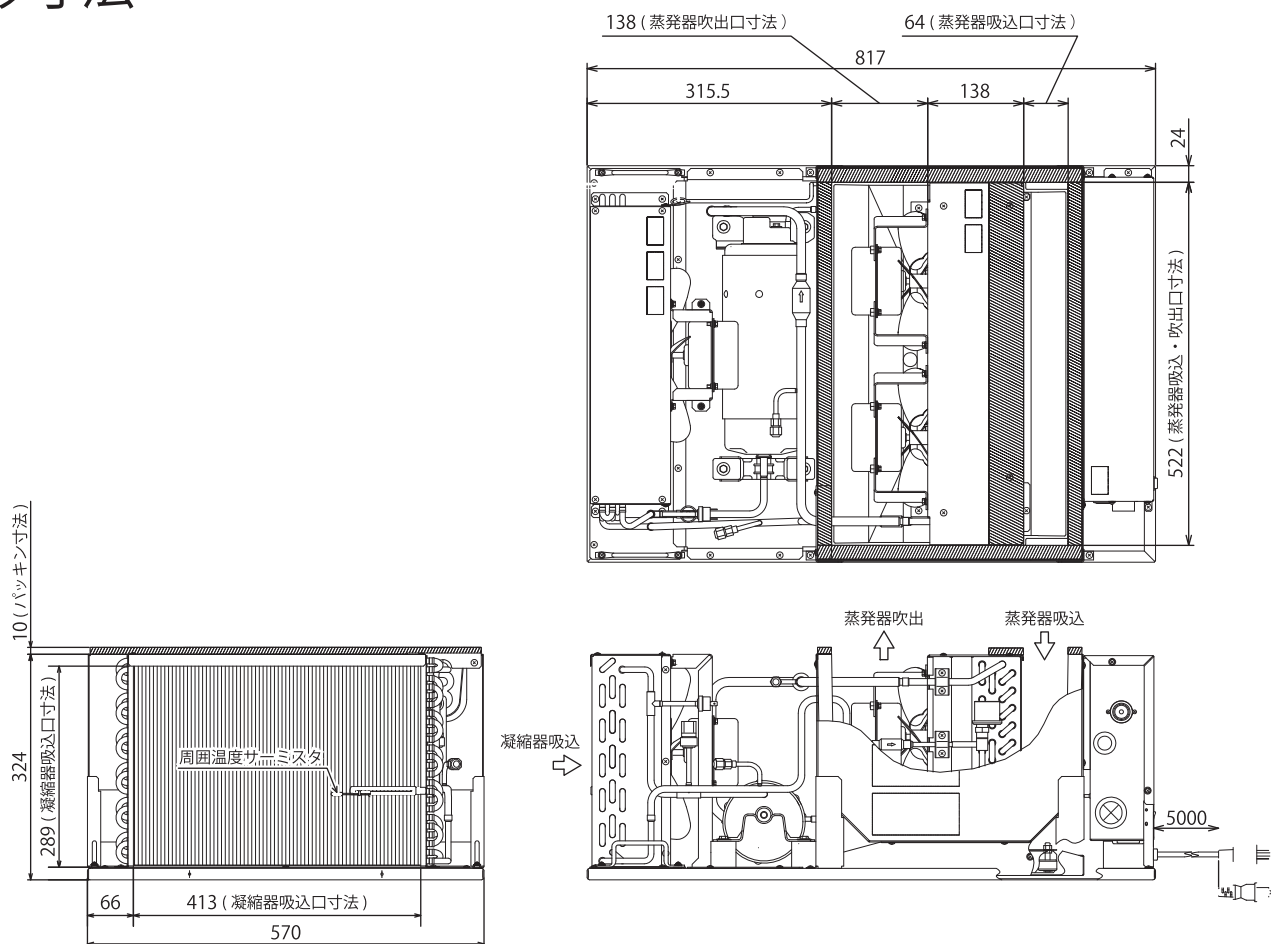
移設および廃棄について

- クーラーを移設再設置する場合は、専門の技術が必要ですのでお買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご相談ください。
- クーラーを長年お使いになったあと廃棄される場合は、冷媒の回収などが必要ですので、お買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご相談ください。
- クーラックに搭載されているクーラーはフロン回収・破壊法の第一種特定製品です。
 - (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 - (2) この製品を廃棄・整備する場合にはフロン類の回収が必要です。
 - (3) フロン類の種類、数量およびその地球温暖化係数 (GWP) は製品に貼り付けの仕様銘板または冷媒銘板に記載されています。
 - (4) 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。このときフロン類の回収処理費用を機器廃棄者に負担いただくことになっています。

故障かな？と思ったとき

現象	考えられる原因	対策方法
ラック内温度が上がりすぎる 冷風が出ない	ブレーカがOFFになっている	ブレーカをONにしてください
	運転スイッチがOFFになっている	運転スイッチをONにしてください
	設定温度よりラック内温度が低い	ラック内温度（⇒P.8）と設定温度（⇒P.11～12）を確認してください
	周囲温度が低いもしくは高い	周囲温度が5℃未満もしくは40℃を超える環境では使用できません
	フィルタが汚れている	フィルタを掃除してください（⇒P.17）
	設置場所の通気が悪い	吸排気口をふさがないでください
	ラック内冷気の循環が悪い	冷気の吹出し口、吸込み口をふさがないでください
	扉が開いている	扉は閉めてご使用ください
	設定温度が適切でない	設定温度を変更（⇒P.11～12）をしてください
	収納機器が多過ぎる	収納機器の総発熱量は2.3kW以下です
	ラック内の温度が上がりすぎている	施工説明書『取付準備』を参照してください
SCRV-U タイプのみ 突き当て板とレバー押え板の位置が正しい位置に取り付けられていない		
表示パネルに警報コードが表示・点灯している	警報が発生しています	警報・異常表示（⇒P.13～15）を確認してください
ドレン水が多い	周囲の湿度が高い	長時間ラックのドアを開放するときはクーラーを停止してください
	扉の開閉が多い	
ラックからの音がうるさい	設置場所の通気が悪い	吸排気口を塞がないでください
	凝縮器ファンが増速回転している	周囲温度が高いときなど運転状態により凝縮器のファンが増速運転することがあります
	ラックがしっかり設置されていない	丈夫な床に水平に設置してください
	クーラーがしっかり固定されていない	ハンドルレバーのネジがゆるんでいないか確認してください
	パネル類がしっかり固定されていない	前パネル・扉を正しい位置に固定してください
	機器の振動が周辺に伝わっている	周辺に当たっているものを取り除いてください
ラックの外側に水滴が付く	蒸し暑い日が続いたとき、据付場所によってはラックの扉や外側に結露することがありますが故障ではありません	乾いた布で拭き取ってください

外形寸法



仕様

設置方法	ラック下部据え置き（ノンドレンタイプ）
外形寸法	W 570 mm × D 817 mm × H 324 mm
質量	51 kg
電源	AC 単相 100 V
周波数	50 / 60 Hz
消費電力	1.01 / 1.26 kW ※
消費電流	11.1 / 12.7 A ※
冷却能力	2.3 kW ※
冷媒種類	R 404A
冷媒封入量	700 g
地球温暖化係数 (GWP)	3920
圧縮機定格出力	0.6kW
使用周囲温度範囲	5 ~ 40°C

※ 周囲温度 35°C、ラック内温度 35°C、凝縮器ファン通常運転の条件下で運転したときの値です。

保証期間

保証期間はメーカー出荷後、1年間です。

当社責任範囲外による故障は有償にて修理させていただきます。

お問い合わせ先

クーラックの修理や操作方法などのご相談は河村電器産業株式会社
つくば工場までご連絡ください。

また、異常がある場合は、すぐに使用を中止してご連絡ください。

河村電器産業株式会社

つくば工場 TEL (029) 889-2771

〒300-0315

茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里 13-4 筑波南第一工業団地

承り時間

土・日・祝日・年末年始を除く AM9:00 ~ PM5:00

営業所在地 下記の弊社ホームページでご確認ください。

<http://www.kawamura.co.jp>

本社 〒489-8611 愛知県瀬戸市暁町 3-86

TEL (0561) 86-8111

